

Customer Value Creation
October 2004

株式会社テイツー (7610)

2005年2月期 中間期

決算説明会



URL: <http://www.tay2.co.jp>

**2005年2月期 業績修正及び
中間期決算説明**



中間期及び通期業績修正要因

古本市場事業関連

- 家庭用テレビゲーム市場の縮小による新品ゲーム売上の不振。
- 音楽CD市場の縮小傾向による中古CD売上の不振
- 古本市場FC店出店の未達

アイ・カフェ事業関連

- アイ・カフェ直営店出店計画の見直し
- アイ・カフェの都市型大型店舗の出店に伴う販促費等の投入



1. 家庭用テレビゲーム市場の縮小

中間期

主要ゲーム機販売台数 (千台)

	03/3-03/8	04/3-04/8	前年同期比
PS2	1,247	1,056	15.3%
GBA	1,666	1,087	34.8%
GC	310	189	39.2%

2004テレビゲーム産業白書(メディアクリエイイト総研)等より

ゲーム機本体価格が値下げされており、金額ベースではより縮小していると想定されます。



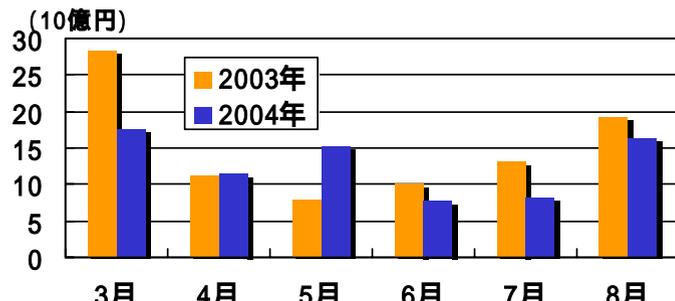
家庭用テレビゲーム市場の想定以上の縮小

当社新品ゲームの既存店増収率は 4.0%とマーケットをアウトパフォームするも、売上高は期初計画を下回る。

下半期

- 新型ゲーム機発売による市場の活性化が期待される。
- しかし、上半期の未達幅を補うのは困難と認識

ゲームソフト月間販売本数上位20本の販売金額



2004テレビゲーム産業白書(メディアクリエイイト総研)等より
当社推計

2004年3月～8月のゲームソフト販売金額は、前年同期対比15%程度減少したと想定されます。



2. FC店出店の未達

	期初出店計画			修正後出店計画			修正数		
	上期	下期	年計	上期	下期	年計	上期	下期	年計
古本市場FC店	17	20	37	7	16	23	10	4	14
アイ・カフェFC店	3	4	7	1	8	9	2	+4	+2

中間期

- アイ・カフェFCへの関心度アップ → 相対的に古本市場FCへの関心が低下
- 旧直営カンパニーを古本市場カンパニーに再編し、古本市場の直営店、FC店運営機能を統合 →
 - ・既存FC店の指導強化を優先
 - ・店舗競争力強化のため、4店舗をフルパッケージFC店に転換

古本市場FC店の出店未達

下半期

- アイ・カフェFC店に対する関心は高く、複数の出店候補先を抱えるも、トータルのFC店出店数は、期初計画を下回る見込み



3. アイ・カフェ直営店出店計画の見直し

	期初出店計画			修正後出店計画		
	上期	下期	年計	上期	下期	年計
アイ・カフェ直営店	9	3	12	3	5	8

修正数		
上期	下期	年計
6	+ 2	4

中間期

- 出店候補物件を慎重に吟味 出店店舗の業績は順調に推移
- 多店舗展開のための足固めを優先



出店数が期初計画に達しなかったことにより売上が未達に

利益面ではプラスの影響

下半期

- 下半期の出店が3店舗から5店舗に増加することに伴う、出店コスト（備品等の消耗品費、販促費など一過性の費用）の発生



下半期利益マイナス要因



4. アイ・カフェの都市型大型店舗の出店に伴う販促費等の投入

中間期

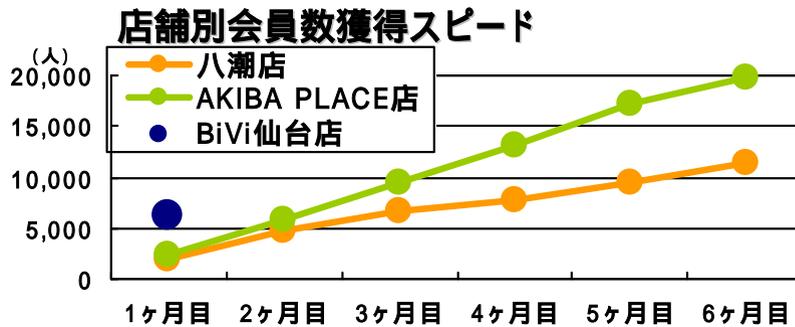
- 当社として初となる、都市駅前型店舗を出店

AKIBA PLACE店(4/15)

BiVi仙台店(8/28)

- その立地を活かして、積極的な販促活動を展開

→ 初期販促費を期初計画を上回って投入



都市型店舗は会員獲得スピードが極めて速い。

初期販促費は掛かるものの、より早期の立ち上げが可能

下半期

- 下半期も都市駅前型店舗を複数店舗出店する計画
- BiVi仙台店、桜木インター店(9/30出店)では、テレビCMを放映



1. 売上高、前年同期比17.4%増

- 新規出店店舗(古本市場、アイ・カフェ)の売上高が寄与
- EC事業の業績拡大

2. 新規出店

- 古本市場事業 直営店4店舗、FC店7店舗を出店
- アイ・カフェ事業 直営店3店舗、FC店1店舗を出店
- 都市型大型店舗(AKIBA PLACE店、BiVi仙台店)を出店

3. 先行投資コストの発生により、利益面では減益に

直営店出店実績

	04/2中間期		05/2中間期	
	出店数	平均面積	出店数	平均面積
古本市場	6*	158坪	4	236坪
アイ・カフェ	1	300坪	3	255坪

*うち4店舗はFC店からの営業譲渡

●アイ・カフェ直営店の出店が1 3店舗に増加。

●都市型大型店舗のスムーズな立ち上がりを意図して、販売促進費などを期初計画よりも上回って投入



2005年2月期 中間期 対前年比較 - 2 -

【連結損益計算書】

(百万円)

	2004年2月期 中間期 (03/3～8)		2005年2月期 中間期 (04/3～8)		前期比
	金額	対前期比	金額	対前期比	
売上高	12,096	100.0%	14,200	100.0%	17.4%
古本市場事業	11,963	98.9%	13,566	95.5%	-
アイ・カフェ事業			417	3.0%	-
EC事業	133	1.1%	216	1.5%	62.5%
売上原価	8,326	68.8%	10,020	70.6%	20.3%
売上総利益	3,769	31.2%	4,179	29.4%	10.9%
販売費一般管理費	3,403	28.2%	4,005	28.2%	17.7%
営業利益	366	3.0%	174	1.2%	52.5%
経常利益	350	2.9%	174	1.2%	50.1%
当期純利益	187	1.6%	58	0.4%	69.1%

アイ・カフェ事業の拡大に伴い、売上原価率が上昇しております。

直営店7店舗の出店コストなどに伴い、利益面では減益に

【単体損益計算書】

売上高	11,780	100.0%	13,070	100.0%	11.0%
営業利益	388	3.3%	191	1.5%	50.8%
経常利益	383	3.3%	180	1.4%	52.9%
当期純利益	208	1.8%	87	0.7%	58.0%



2005年2月期 中間期 カンパニー別実績

【カンパニー別実績】

(百万円)

	期初計画	実績	達成率
単体売上高	14,400	13,070	90.8%
古本市場 カンパニー	13,790	12,750	92.5%
アイ・カフェ カンパニー	405	243	60.0%
事業開発 カンパニー	205	77	37.6%
サービス・カンパニー	(670)	(539)	80.4%
単体経常利益	280	180	64.3%
古本市場 カンパニー	450	367	81.6%
アイ・カフェ カンパニー	235	170	-
事業開発 カンパニー	50	22	-
サービス・カンパニー	15	5	33.3%

新品ゲーム、中古CD売上の不振

直営店出店の見直し

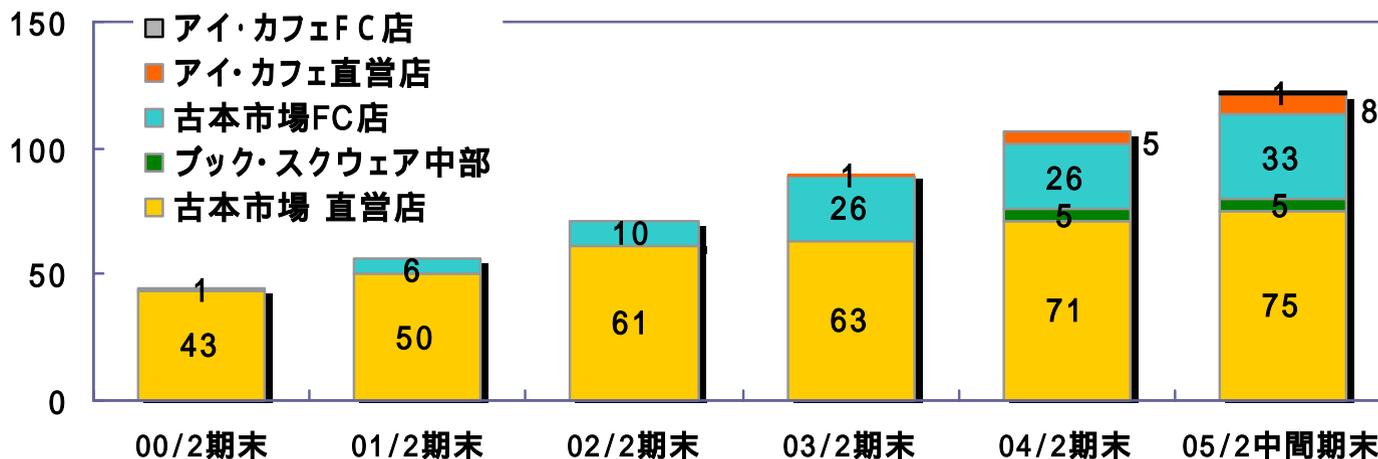
期初計画8店舗 実績3店舗

古本市場FC店出店未達

直営店出店の未達により出店費用が発生が少なかった影響



出店状況

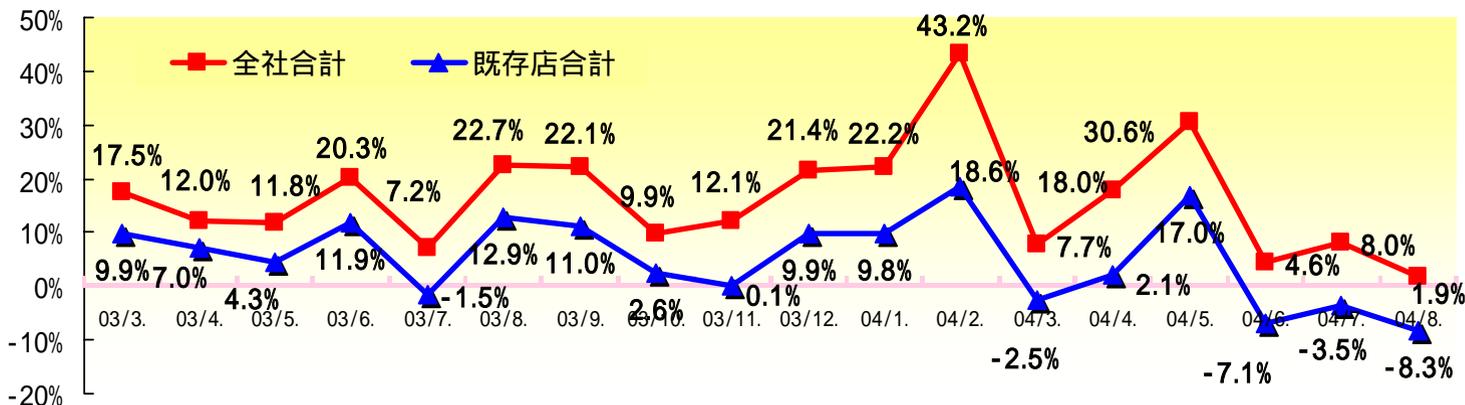


	04/2期	05/2期 中間期				増減数	下期出店計画
	期末	出店	退店	形態変更	中間末		
古本市場直営店	71	4	0	0	75	+4	2
ブック・スクウェア中部	5	0	0	0	5	±0	0
古本市場FC店	26	7	0	0	33	+6	16
アイ・カフェ直営店	5	3	0	0	8	+3	5
アイ・カフェFC店	0	1	0	0	1	+1	8
合計	107	13	0	0	122	+14	31



直営店月次増減率推移

全社 / 既存店売上高増減率



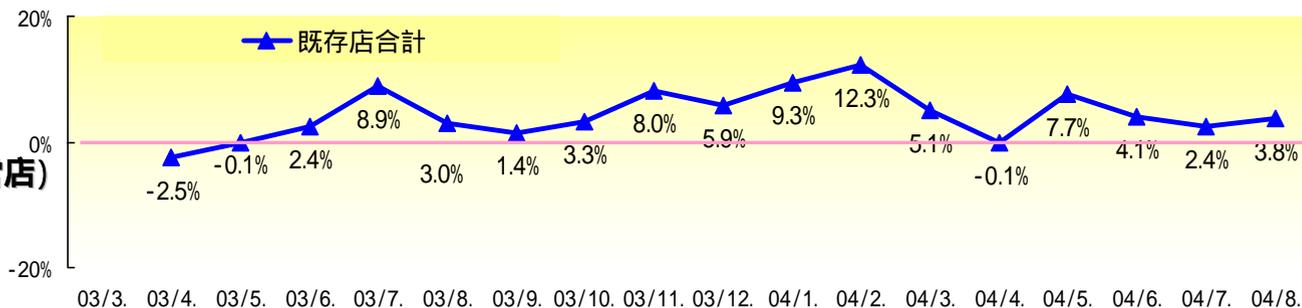
古本市場直営店(既存店)客数・客単価増減率



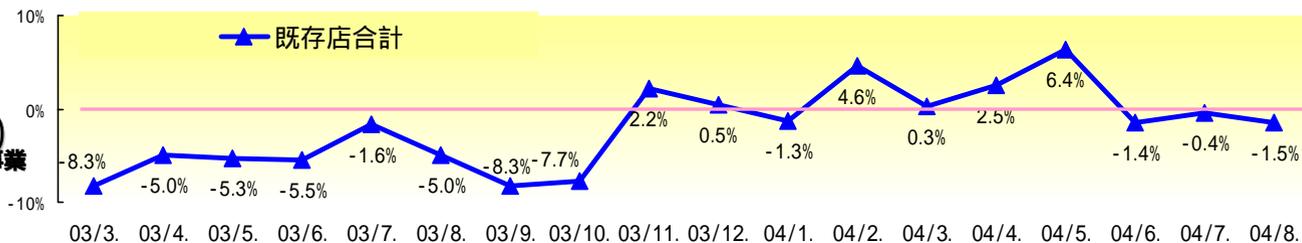


同業他社既存店増減率推移

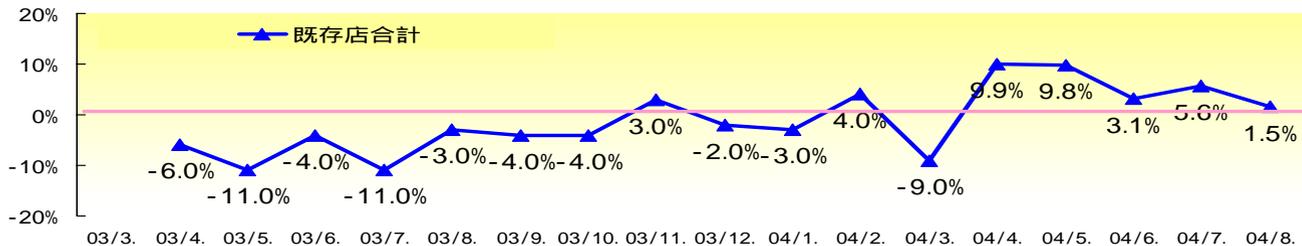
B 社 (古本事業直営店)



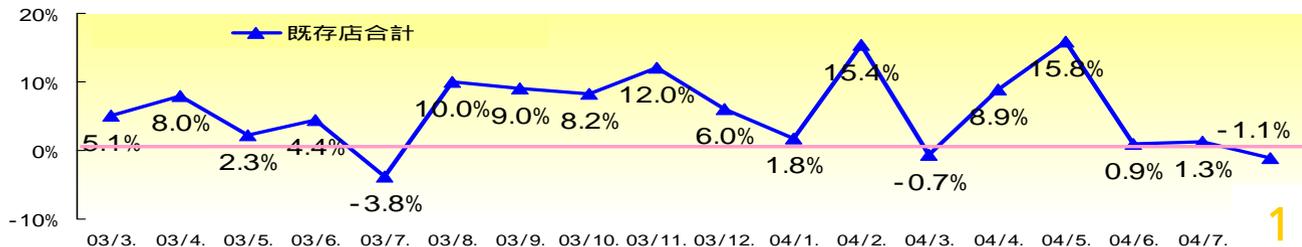
F 社 (リサイクル事業) *11月以前は古本事業



C 社



G 社

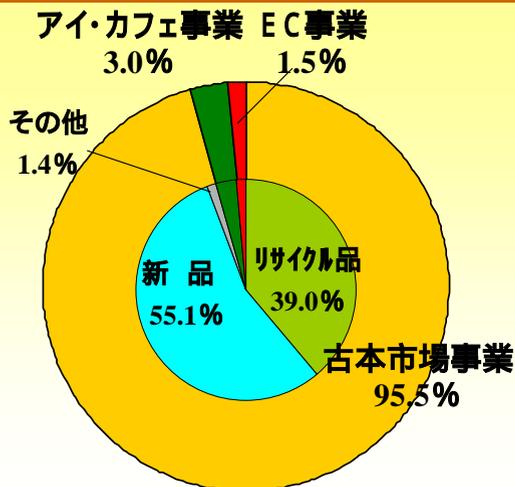




品目別売上高・売上総利益【連結】

売上高、構成比

新品内訳	百万円	
	04/2中間	05/2中間
新刊書籍	75	426
新品ゲーム	5,733	6,123
新品CD	341	537
新品ビデオ	507	666
その他	53	65
合計	6,711	7,819

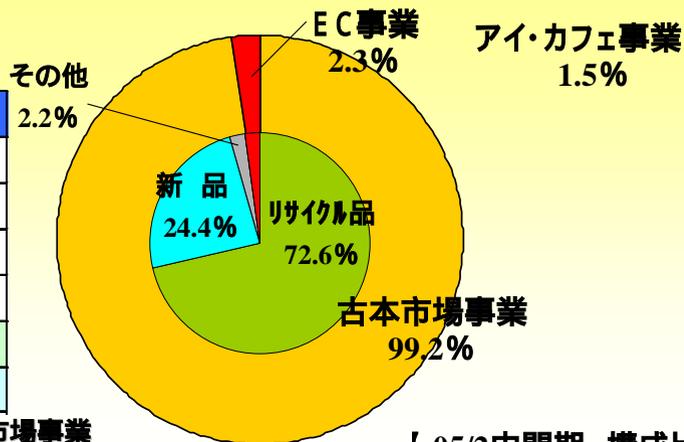


リサイクル内訳	百万円	
	04/2中間	05/2中間
古本	1,939	2,079
中古ゲーム	2,195	2,484
中古CD	511	530
中古ビデオ	370	440
合計	5,017	5,534

【05/2中間期 構成比】

売上総利益、構成比

セグメント別	04/2中間	05/2中間
古本市場事業	3,708	4,414
リサイクル	2,806	3,035
新品	790	1,018
その他	112	90
アイ・カフェ事業	-	-61
EC事業	65	97



*前中間期のアイ・カフェ事業粗利は古本市場事業
その他に含めて表示

【05/2中間期 構成比】



2005年2月期 中間期 貸借対照表【連結】

	2004年2月期末		2005年2月期 中間期末		増減率
	金額	比率	金額	比率	
流動資産	4,992	52.5%	5,045	50.5%	1.1%
現金・預金	1,152	12.1%	894	8.9%	22.3%
たな卸資産	3,191	33.6%	3,511	35.1%	10.0%
その他	648	6.8%	639	6.4%	1.3%
固定資産	4,512	47.5%	4,955	49.5%	9.8%
有形固定資産	2,092	22.0%	2,367	23.6%	13.1%
無形固定資産	386	4.1%	338	3.4%	12.6%
投資その他	2,033	21.4%	2,249	22.5%	10.6%
総資産	9,505	100.0%	10,001	100.0%	5.2%
流動負債	3,895	41.0%	4,148	41.5%	6.5%
買掛金	1,445	15.2%	1,210	12.1%	16.3%
短期借入金	1,322	13.9%	2,026	20.3%	53.3%
その他	1,127	11.9%	912	9.1%	19.1%
固定負債	1,876	19.7%	2,030	20.3%	8.2%
長期借入金	1,677	17.7%	1,767	17.7%	5.34%
その他	199	2.1%	263	2.6%	32.2%
株主資本	3,567	37.5%	3,635	36.3%	1.9%

(百万円)

直営店、フルパッケージの古本市場FC店の拡大による在庫増

古本市場直営店 71 75
古本市場フルパッケージFC店 6 12
アイ・カフェ直営店 5 8

古本市場、アイ・カフェの直営店出店に伴う設備投資

(参考)

●05/2期 中間期
単体設備投資額 655百万円

(内訳)

・新規出店及びS&B 573百万円
・ソフトウェアの開発 81百万円

●05/2期 中間期
単体減価償却費
225百万円



財務諸表 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	04年2月期 中間期 (03/3~8)	05年2月期 中間期 (04/3~8)
営業キャッシュ・フロー	396	337
投資キャッシュ・フロー	922	723
財務キャッシュ・フロー	769	803
現金及び現金同等物の増減額	242	257
現金及び現金同等物	774	811

営業CFの内訳

税引前中間純利益	173
減価償却費	267
たな卸資産増加額	319
仕入債務増加額	235
その他	65
利息・配当金受払	22
法人税等支払	267
営業CF計	337

営業キャッシュフロー

- たな卸資産: 店舗数の拡大などによりたな卸資産が増加
- 仕入債務: 8月の新品ゲームタイトルが2月よりも少なく、仕入高が減少

投資キャッシュフロー

- 新規出店に伴う、有形固定資産取得による支出の増加

財務キャッシュフロー

- 出店費用として長期借入金の増加

TAY TWO

2005年2月期 通期業績予想及び

下半期経営戦略



2005年2月期 業績修正 - 1 -

■連結通期予想

(百万円)

	2005年2月期(04/3～05/2)				増減率
	期初予想		修正後		
売上高	34,800	100%	32,700	100%	6.0%
営業利益	1,050	3.0%	770	2.4%	26.7%
経常利益	1,060	3.0%	750	2.3%	29.2%
当期純利益	610	1.8%	390	1.2%	36.1%

2004年2月期 2003/3～2004/2	
28,055	100%
845	3.0%
823	2.9%
430	1.5%

EPS	12,355円	7,769円
BPS	82,013円	77,268円
ROA	10.2%	7.8%
ROE	16.0%	10.5%



2005年2月期 業績修正 - 2 -

■単体通期予想

(百万円)

	2005年2月期(04/3～05/2)				増減率
	期初予想		修正後		
売上高	32,200	100%	30,000	100%	6.8%
営業利益	1,090	3.4%	760	2.5%	30.3%
経常利益	1,070	3.3%	730	2.4%	31.8%
当期純利益	590	1.8%	390	1.3%	33.9%

2004年2月期 2003/3～2004/2	
26,824	100%
919	3.4%
910	3.4%
506	1.9%

EPS	11,950円	7,769円
BPS	86,368円	77,293円
ROA	11.1%	8.1%
ROE	14.7%	10.2%



出店計画の修正

■出店計画の修正

	期初出店計画			修正後出店計画		
	上期	下期	年計	上期	下期	年計
古本市場直営店	5	1	6	4	2	6
ブック・スクウェア	0	0	0	0	0	0
古本市場FC店	17	20	37	7	16	23
アイ・カフェ直営店	9	3	12	3	5	8
アイ・カフェFC店	3	4	7	1	8	9
合計	34	28	62	15	31	46

修正数	
下期	年計
+ 1	± 0
± 0	± 0
4	14
+ 2	4
+ 4	+ 2
+ 3	16



2005年2月期 四半期業績見通し - 1 -

■四半期予想

【連結】

(百万円)

	上半期実績	業績予想			
		第3四半期	第4四半期	下半期	通期
売上高	14,200	7,385	11,100	18,485	32,700
営業利益	174	125	471	596	770
経常利益	174	115	461	576	750
当期純利益	58	72	260	332	390

【単体】

(百万円)

	上半期実績	業績予想			
		第3四半期	第4四半期	下半期	通期
売上高	13,070	6,630	10,300	16,930	30,000
営業利益	191	90	479	569	760
経常利益	180	80	470	550	730
当期純利益	87	53	250	303	390



2005年2月期 四半期業績見通し - 2 -

■カンパニー別四半期予想 【売上高】

(百万円)

	上半期実績	業績予想			
		第3四半期	第4四半期	下半期	通期
古本市場カンパニー	12,750	6,310	9,800	16,110	28,860
アイ・カフェカンパニー	243	210	290	500	743
事業開発カンパニー	77	110	210	320	397
サービスカンパニー	539	290	290	580	1,119

【経常利益】

(百万円)

	上半期実績	業績予想			
		第3四半期	第4四半期	下半期	通期
古本市場カンパニー	367	200	390	590	957
アイ・カフェカンパニー	170	150	30	180	350
事業開発カンパニー	22	20	90	110	88
サービスカンパニー	5	10	20	30	35

*カンパニー間の売上、費用を含んでいるため、上記の合計は全社(単体)の売上高見通しとは一致しません。
*サービスカンパニーの売上高は他カンパニーに対するもので、当社管理会計基準によります。



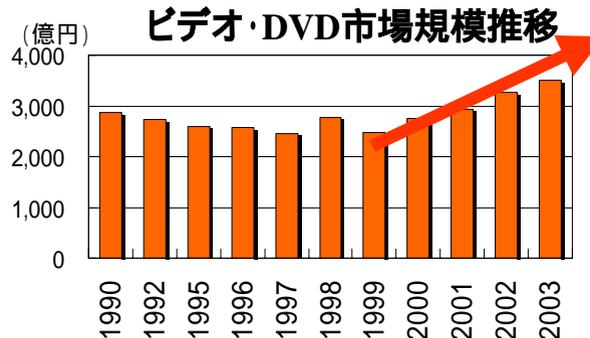
古本市場事業

1. リサイクル品の買取強化

- リサイクル事業の原点は商品の買取にあり、古本、中古ゲーム、中古DVDの買取をより一層強化する。
- それが魅力ある売り場作り 来店客数の増加 リサイクル品の売上増加につながる。

2. 中古CD売場を縮小し、中古DVD売場を拡大

- 音楽CD市場とDVD市場の成長の差、音楽ネット配信の普及を鑑み、中古CD売場を縮小し、中古DVD売場を強化する





アイ・カフェ事業 下半期経営戦略 - 1 -

1. 都市駅前型店舗の出店

- 周辺の昼間人口、歩行者数が多く、早期の会員数の拡大(=売上の拡大)が可能
- 既存の市場(喫茶/カフェ)の顧客獲得を目指し、カフェテリアコーナーを充実

AKIBA PLACE店

270坪 秋葉原電気街



BiVi仙台店

300坪 仙台駅東口



2. 什器の調達先変更による店舗クオリティの向上

- ・BiVi仙台店より導入開始



3. インターピア株式会社の子会社化

9月10日株式譲渡完了、譲受金額:126百万円、当社持株比率:56.5%

インターピア株式会社の概要

- ・設立:2000年10月
- ・事業内容:インターネットカフェ向け店舗運営管理システム(Necca-Manager)の販売
コンテンツメーカー向けWeb課金・決済システム(C - Manager)の販売
- ・前期業績(03/12期) 売上高:326百万円、経常利益 51百万円 今期黒字へ

Necca-Manager System Solution

8月末現在48店舗のネットカフェに導入

- POS機能
 - ・各種データの分析・加工が可能
- 店内PC運営管理機能
 - ・店内に設置したPCの運営管理

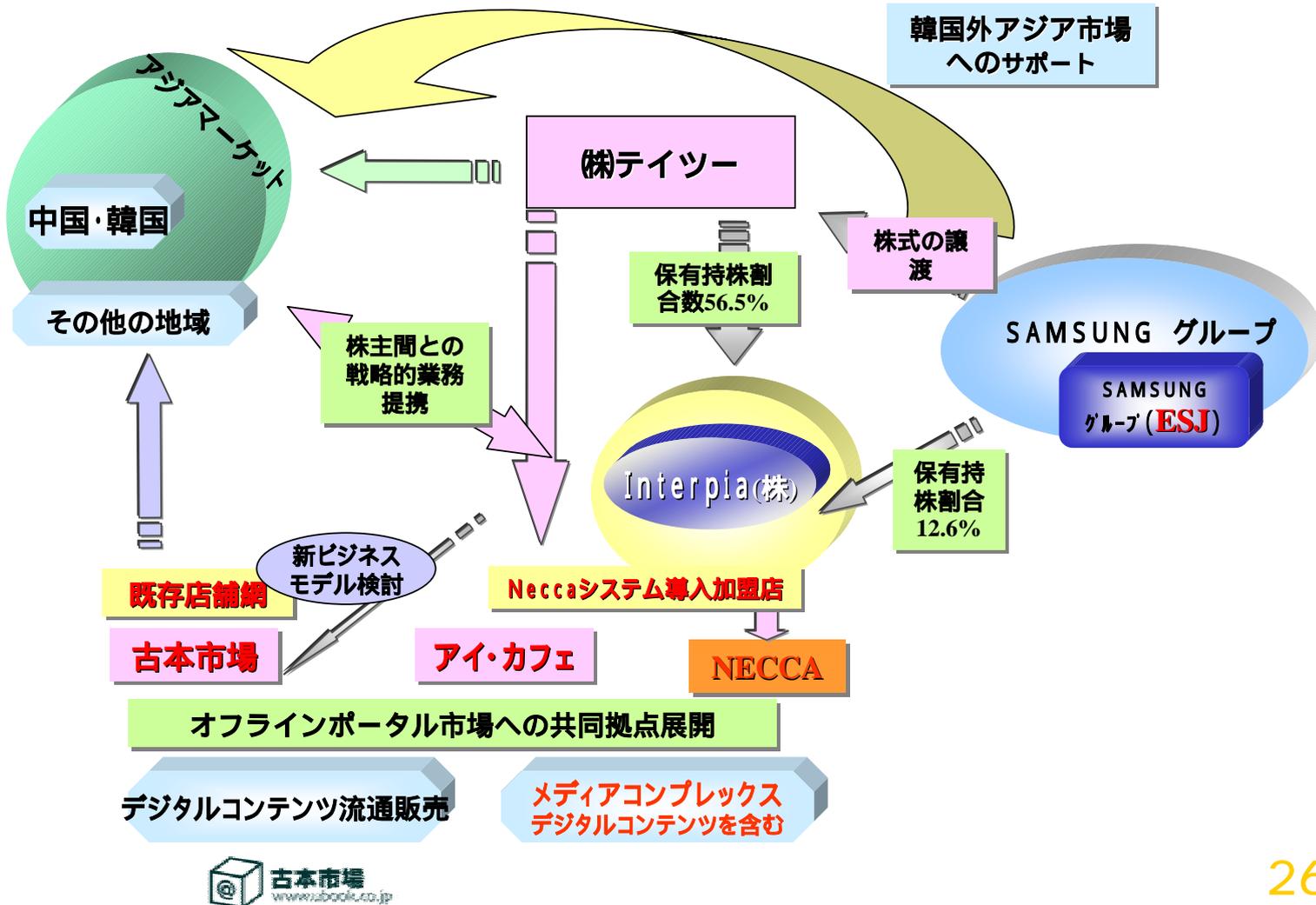
C - Manager

- 多様な決済手段を契約1本で提供
 - ・クレジットカード、コンビニ支払、
プリペイドカード、銀行振込
- 課金と決済が同時に導入可能
- ネッカシステム導入店舗との連動による多様なプロモーション支援



アイ・カフェ事業 下半期経営戦略 - 3 -

テイツーとインターピアの戦略的提携イメージ





EC事業 下半期経営戦略

ユーブック業績推移(単体)

(百万円)

	04年2月期		05年2月期
	上半期	下半期	上半期
売上高	143	186	236
経常利益	30	0	9

黒字の定着

(千人)

ユーブック会員数推移



会員数の着実な増加

アライアンスの強化

ポータル・サイト、ISPの運営会社と提携を交渉中。

集客力のアップ、 **古本市場** www.sbook.co.jp の知名度アップ

2004年6月より、「AOL Shopping」で、古本、ゲーム、CD、DVD の販売・買取サービス  **古本市場[™]AOL** を開始

新物流システムによる古本在庫の有効活用

古本の単品管理システム本格稼働により、販売機会ロスを低減

ユーブックにおいても売上増に貢献

TAY TWO

參考資料



会社概要

社 名	株式会社テイツー (英訳名 TAY TWO CO.,LTD.)
設 立 日	1990年4月16日
上 場 日	1999年9月14日:JASDAQ
住 所	岡山県岡山市今村650 - 111
代 表 者	代表取締役社長 大橋 康宏
事 業 内 容	1.古本、TVゲームソフト・ハード、CD、DVD等の新品及びリサイクル品の の販売・買取及ビデオレンタル業務 2.インターネット・コミック・カフェ「アイ・カフェ」の運営 3.インターネットサイト  古本市場 www.2book.co.jp の運営(連結子会社:(株)ユーブック)
従 業 員 数	正社員321人、パート・アルバイト928人、合計1,249人
資 本 金	1,114百万円
発行済株式数	50,197株:単元株制度なし
株 主 数	3,432名



Mmission

経営理念

「満足を創る」

スローガン

Customer Value Creation ~ 顧客価値の創造 ~

行動指針

テイツーの七感

- ・変化を観る「目」をもつ
- ・お客様の声を聴く「耳」をもつ
- ・親しみと感謝の気持ちを表す「口」をもつ
- ・自らを律し、常に向上しようとする「心」をもつ
- ・常に新しい価値と独創性を創り出す「頭」をもつ
- ・お客様が次に何を望むのか、時代がどう変わるのかを感じる「勘」をもつ
- ・お客様に親身にそしてけなげに接するひたむきな「姿勢」をもつ



テイトーグループの状況

リサイクル品・新品の店舗展開

～ 買取・販売 ～

連結子会社

(株)ブック・スクウェア中部 (100%)

「ブック・スクウェア」

「古本市場」

持分法適用会社

(有)アゲイン	(34.0%)
(株)トップブックス	(35.0%)
(株)さっぽろ古本市場	(35.0%)
(有)ブイレックス二十一古本市場	(35.0%)
(株)ぱんぐら	(35.0%)

株式会社
テイトー

ECサイト 古本市場 による展開

連結子会社

(株)ユーブック (64.9%)

その他事業

持分法適用会社
(有)オフィス・サプライ
(42.5%)

複合カフェの展開

連結子会社

(株)アイ・カフェ (35.0%)
インターピア(株) (56.5%)

()内は、当社からの出資比率

テイツー・グループ・スローガン

Customer Value Creation

～ 顧客価値の創造 ～

本資料は、2005年2月期の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2004年10月15日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

IR窓口： 経営企画部 片山 靖浩・中村 文彦・富矢 武志

TEL03-5408-5542 FAX03-3432-2455

E-mail: ir@tay2.co.jp



URL: <http://www.tay2.co.jp>